

No. 18

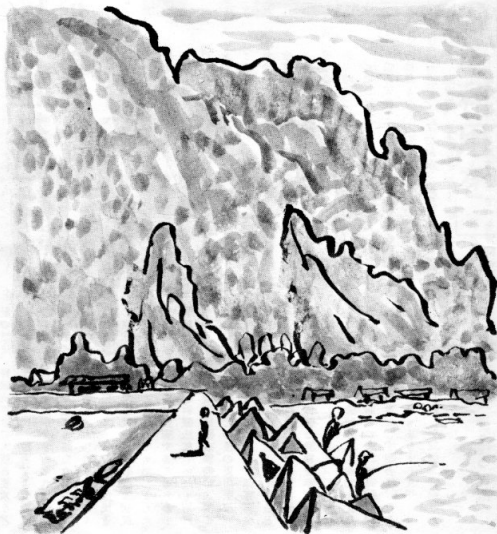
53
1977年10月15日

SSKO

No. 18

東腎協

東京都腎臓病患者連絡協議会
 事務局 東京都 [REDACTED]
 〒161・電話・ [REDACTED]
 郵便振替口座・ [REDACTED]
 加入者名・東腎協



元・鶴丸和彦

昭和五十一年二月二十五日第三種郵便物認可
 SSKO通巻第百五十五号
 昭和五十二年八月二十九日発行

「腎臓病患者にとって福祉とは」

全腎協・上田会長 都民を対象に講演



講演する全腎協の上田会長

東京都が身体障害者の各種催し物、会議や交流の場として一昨年、港区三田に建設し、東腎協をはじめ多くの障害者に利用されている東京都障害者福祉会館では、昨年からは都民を対象とした福祉講座を開いています。

その第四回福祉講座が九月九日に同館集會室で開かれました。今回の講座には全腎協の上田昭会長が講師として招かれ「腎臓病患者にとって福祉とは―患者運動の中で考えたこと」というテーマで約二時間にわたって講演しました。

この日は台風九号の影響によるあじくくの悪天候で、出席者はこれまでの講座では最も少いとのことでしたが、それでもボランティア活動家、医療、福祉関係者、障害者、患者など三十八余りが参加しました。

上田会長はこの講演の中で、全腎協運

動の歴史、腎臓病患者の実態と要求などについて話すとともに、障害年金改正運動の経験やいま準備がすすめられている全国患者集會の意義にもふれながら、ひろく他の難病患者、長期慢性疾患患者やその家族、さらには多くの都民、国民との共通する要求での大運動が必要を状況となっていることについても話しました。

参加者の多くが健常者であることから、腎臓病、とくに透析療法についても解説を加えながら、全腎協結成当時の患者のおかれていた状況、その後の更生医療、再生医療や人工腎臓整備計画、障害年金の一定の改善など、運動によってかちとった成果、さらには最近の腎臓移植普及運動についても具体的な資料を示しながら話しました。

この講座には聴力障害者も参加していたことから手話通訳もつき、また、腎臓病患者も何人かが参加し、閉会後、入会を希望する患者さんもありました。

新制度のご利用を

前条で、身障手帳三級の腎臓病患者の医療費が九月一日から無料化されたことお知らせしましたが、十月一日からは、次のようなものが新しく実施されます。

◇ 心身障害者に対する

付添看護料の差額助成

心身障害者医療費助成制度の対象者が入院した場合の付添看護料について、医療保険の基準額と実際に支払う慣行料金との差額が助成されます。(ただし、医療保険の給付の承認が得られない付添看護料は助成されません)。

なお、この制度の対象者でなくても、社会保険の被保険者本人であって、障害の程度が身障手帳一・二級(内部障害者は三級も)で、所得が一定額以下の方も適用されます。

詳細は、お住まいの区市町村の心身障害者医療費助成担当課か民生局福祉部医療助成課・電話03(1111)4084または(1111)5111の内線四〇二へ。

◇ 難病(特殊疾病)医療費助成の

対象者にも看護料の差額助成

東京都が実施している特殊疾病の医療費助成対象者(三十疾病)で、医療券の交付を受けている方が対象となり、腎臓病患者の場合は「人工透析を必要とする腎不全」「悪性高血圧(悪性腎硬化症)」「ネフローゼ症候群」の方が該当になります。

また、小児慢性疾患の医療費助成対象者で、特殊疾病に該当(特定疾病)する方も助成が受けられます。慢性腎疾患関係では「ネフローゼ症候群」「慢性糸球体腎炎」「慢性腎盂腎炎」「紫斑病性腎炎」などがあります。

詳細は、衛生局医療福祉部業務課・電話03(1111)5111の内線二九二五番へ問い合わせして下さい。

◇ 自動車運転教習費の補助

〔対象者は〕

- ① 道路交通法の適性試験に合格した身体障害者手帳一級〜三級の方。内部障害(心臓・呼吸器・腎臓)の方は四級、下肢または体幹機能障害の方は五級までで、いずれも歩行困難の方。

- ② 引続き三か月以上同じ区市町村にお住まいの方。

- ③ 前年の所得税の年額が40万円以下の方。

〔補助額〕

支払った技能教習料等が対象で、十一万円が限度となっております。

申し込みは、区市町村の福祉課または福祉事務所です。

詳細は、民生局心身障害者福祉部・電話03(1111)5111の内線二四八九番へ問い合わせ下さい。

なお、今のところこの制度を実施していない区市町村もありますのでご注意ください。

東難連が衛生局、民生局交渉

東腎協は五項目の要求提出

さる七月十四日、昭和五十三年度東京都予算案に関する衛生局および民生局との話し合いが都庁第三庁舎一階会議室で行われました。この話し合いは、東難連（構成団体十二団体中、九団体十九名が出席）と一語に行われたもので、衛生局側からは、木村衛生局長、大西医療福祉部長、高橋特殊疾病対策課長、秋谷業務課長、および病院管理部の南木管理課長が出席、また民生局側からは、心身障害者福祉部の越智福祉課長、安彦主査、計画課の清水企画係長、馬場主査の方々出席され、東腎協から、宝生、一ノ清、泉山、高橋、川崎、平沢の各氏が出席しました。

話し合いに先立ち、七月三日付で、前職労働局長から転任された木村衛生局長からご挨拶（省略）があり、他の会議のために、木村局長、大西部長が中座された後で、まず、東難連の要望事項に対して、高橋課長、南木課長から回答（省略）がなされました。

東腎協が提出した五項目の要請事項は、第五回総会（四月十七日）で採択した昭和五十二年度の活動方針を役員会で討議して具体化した役員・家族の切実な要求であります。これに対して、担当課長から現状と考え方について回答がさまざま

〔高橋特殊疾病対策課長の説明〕

一、慢性腎炎の医療費 無料化について

慢性腎炎については、いろいろな病型があると思いますが、いま難病としてとられているこの慢性腎炎に関連した疾病としては、「ネフローゼ症候群（51年10月公費負担実施）」は、慢性腎炎と明らかに区別しえないものであるかも知れません。このへんには学問的いろいろな問題があるかもしれませんが、慢性腎

二、通院交通費の 支給について

これは、先ほど東難連の要望のところでご説明しましたとおり、医療手当という中で、通院交通費を含めたことで考え実現に努力したいと思っております。

炎のある型の分け方としては、ネフローゼ型というより一つの分け方もありますし、「悪性高血圧（49年10月公費負担実施）」も高血圧型にあるいははいるかも知りませんが、それから更に進んだ状況における「人工透析」を必要とするような状況になってからの医療費の助成などが今迄特殊疾病の公費負担の対象になつていくわけでございますが、それ以外の慢性腎炎があるわけでございます。そういう疾病につきましては、先ほど申し上げました、今迄公費負担の対象とした疾病と比べながら検討させていただきたいと思っております。

〔南木病院管理課長の説明〕

三・都立大久保病院に腎移植の できるセンターの設置について

現在都立大久保病院は外来診療病棟を改築（53年度完成予定）しており、これが完成すると現在ある腎不全センターの病床一〇床が二九床に増床できます。またご要望の腎移植のできるセンターについては、ご承知の財政事情でありますので予算化の目途はありませんが、大久保病院の改築の際には、実現されるより努力したいと思っております。

四・各都立病院に透析機械を設置す るとともに夜間透析を実施し、 特に三多摩に透析機械の増設に ついて

都立の総合病院には将来人工透析機械を設置（主として急性腎不全患者用として）するより検討しておりますが、夜間透析の実施については、国立病院ともいえることですが、公務員の総定員法により医療従事者といえども増員は大変困難であります。従って民間施設に依存

しなければなりません。また三多摩につきましても同様に民間施設に頼らなければならぬのが現状であります。

〔民生局・越智福祉課長の説明〕

五・心身障害者福祉手当の支給対象 を内部障害者三級まで拡大につ いて

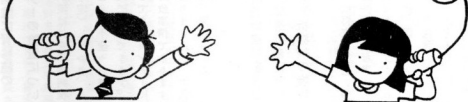
心身障害者福祉手当は、在宅の心身障害者の経費の軽減、福祉の向上を目的として、二〇才以上の一・二級の障害者、一〜三度の精神薄弱者等の方を対象に、東京都独自で実施している制度であります。現在月六〇〇〇円支給しており、本年十月から月五〇〇〇円の増額をすることとなっております。ただし、所得制限があり、老人福祉手当受給者や施設入所者は除かれます。

現在三万一千人の支給対象者がおり、財源が二十二億円必要となっておりますので、これをさらに、三級にまで対象を拡大するとしますとあらたに約二十億円の財源が必要になりますので、現在の財政事情では大変難しい状況であります。将来は検討しなければならぬと考えて

おります。



仲間のたより



食事作りは
大変ですね

個人会員

川住よしゑ（家族）

いつぞやは資料を各種お送り頂きありがと存じました。入会させて頂きたく別紙払込票で会費のご送金をいたしましたので、よろしくお願ひいたします。

東腎協の中にもいろんなグループがあるようですが、いずれはどこかに属するようになるのでございましょうか。

現在、尿素窒素54、クレアチニン2.5ぐらいでして、二泊三日ぐらいの外泊を二、三回くり返して食事作りなどに少々なれから、多分八月末には退院。あとは通院という事に予定しております。

先日、二日帰って参りまして、まず食事作りのむずかしさにおどろきました。主婦である私が仕事を持っておりますので、なれるまでは親子共々大変な事と覚悟いたしております。

どりぞ、何かとご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

（七月二十三日）

※ 息子さんの和矢さんが個人会員に
なっています。

会費の払込み
少し待って下さい

個人会員

原島 順

前略

いつもお世話様になりますことを心よりお礼申し上げます。

残り（会費）は九月に年金をいただきましたらお送り申し上げます。

ご迷惑ながら九月まで待って下さい。お願ひ申し上げます。

病名は慢性腎炎でした。家の仕事といつてもたいたことではないのですが、このごろはすこし動くとき汗がぼろぼろでまして、横になると寒くて電気ごたつにはいるのです。夏と冬の物をならべているのです。

末筆ながらお体を大切に。いたりませんが、よろしくお願ひ申し上げます。

透析患者と一杯の水

個人会員

斎藤 唯志

夏、冷蔵庫で冷たくなった水を、グツと飲む幸せは、透析患者でなければ味えない実感だろう。その水を制限されていて、あわや、ど元をよぎるとい瞬間に吐き出して、ヤッと渴を慰する。だがそれでも、水への飢餓感はまだされない。えいっと、思い切って飲み込む。その冷たい感触が、のどを心よくすぐる。その一瞬の幸せは、たとえようもない。思わず、ああーと、溜め息を吐く。だがそれは一瞬、また、もう少し飲みたいという欲求が湧いてくる。我々透析患者は四六時中水が欲しいみたいである。

昔、仙台の殿様が鮭の皮の下の油身のうまさ、このためなら一圓を失ってもよいと言ったというが、私の冷たい水への憧れも同じ思いである。ただ、その一瞬が生命への計算とつながっているところに、仙台の殿様との違いがある。もっと精神的な幸福感を見つけたらよさそう

なものにと、我れひと共に思ひ。しかしそれはそれ、生きている肉体の欲求は、その一瞬を今も求めている。

所詮、幸せとは一瞬だ。だつたら無限の大地の中で、生命だつたら一瞬ではないか。許せ一杯の水。この渴き慰やせ。ああ。このうまさ、……というわけにはいかないが、悲しいかな、我々の日常なのだ。

そこで考える。水もいかん、塩もいかん、酒も煙草も色欲も。それではまるで坊主だ。いま時坊主にだつて、そんな殊勝な坊主はいないだろう。とすれば、我は人生の達人を志向しているのだ。よろしい、僅かのど元三寸を流れる水に、何で幸せを感じるものか。動物ではあるまいし、人間の尊厳に賭けて、そんなちっほけな幸せなど拒否しより。人生は何かしら欲求を持ち、その渴きへの闘いののだ。目標を高く設定せよ。我が命はまさにその渴きとの闘いの中に置かれている。目前の事実を重視し、いま闘えと。だが諸君、やっぱり水が欲しい。あーあー人生の幸せとは、透析患者の一杯の水なのだろりか。

あれから八年

個人会員

芦田 法幸

或る年の冬の午後、ぼくは両手に抱えられるだけの本を抱えて表通りを歩いていた。涙がとめどなく流れ、拭うことができなかった。

「チチキトク」——母からの電報は短く、「スグカエレ」の文字が見あたらない。俳優志願などというやくざな暮らしを続ける三男に、母は期待をかけていないのだった。

そんな母の諦めを打ち消したいと、ぼくは両腕の痛みに耐えつつ、帰省の費用を作るために古書店を捜し歩いた。

父は幸運だった。ぼくは今そう思う。人工腎臓にありつけたこと。保険が使えること。どちらが欠けても死は避けられなかった。医療と生活の両方において、父は文字どおり危機一髪のところまでセーフとなったのだ。

それから八年目。「十年一昔」とい

ことばがあるが、父にとつては一年間でさえ二昔も三昔もの長さであつたらうと思ふ。発病前は放蕩とも見える日を過して母に迷惑をかけ続けた父が、透析の抑圧の中から闘いを始めていた。

闘いの敵がいつたい何なのか、一口で表すことはできない。氣どつて言へば社会のエゴイズムというものかもしれないが、うまくまとめようとしても、あれやこれや付録がいつぱいついてしまふ。

ぼくは、上京する父の荷物係として国会請願などの会活動に参加しているうちに、ハンデを背負う者への制度の欠落を知つた。社会生活に矛盾の多いことを感じた。

或る年の冬の午後、ぼくは黒の重いコートにためらいを隠してドアを押した。ビルと呼ぶには小さすぎる、そまつな二階家の二階に全腎協の事務所があつた。多忙な事務局長を手伝うよりになつてからもりすぐ三年、まだまだ十分な仕事はできない。

ぼくは父の健康を祈る。そういつ「ぼく」がいつぱいいる。そういつ「父」も数知れぬ。「ハンセン氏病患者」がい

てその「家族」がいる。「心臓病患者」がいて、その「母」や「弟」がいる。あるいは「筋無力症患者」がいて、「兄」や「祖父」がいる。あるいはまた、名も知れぬ病に侵されて苦しむ仲間の少ない患者がいて、そしてその「子」がいる。

ぼくは、今年五十六才の父に、平均寿命まで生きてもらうのだと夢ではなく考へている。無邪気な甥や姪には恐怖を味あわせたくない。そしてそのためにも、すべての患者、障害者とその家族が集い合い、弱い者が困という大きな輪の片隅に追いやられないよう、広く世論に訴えてゆかねばと思ふ。そしてまたそのことは、次の世代に大きな財産を残すことにもつながるのだと信じている。

秋のはじめに思ふ

ニール友の会

風間

尚子

腎臓病を一生のつき合ひと思つて後生大事（？）にしている私にとつてこの病気の患者の集まりである東腎協及びこの

会誌は最も尊く大切なものです。いつまでも絶やしてはならないし、もつともつと大きく伸びてゆくよう私連一人ひとりが協力しなくてはならないと思ふ。

偉そうなことはいつても、実際には何一つ出来ず他人まかせて申し訳ないと思つていますが、ただ不思議でならないのは同病人の集まりである会の中で、何故原稿不足が叫ばれ、会員の生の声が掲載しきれないほど出てはこないのでしょうか。皆さん、それぞれの状態の中で言いたいこと、訴えたいこと、沢山あると思ふのです。

こり考へていつた時、ふつと脳裡をよぎる過去掲載されたある人の歌。

語るべき言葉は軽しと思つてか

透析の友は語らず

連帯の意識もたんと語りかければ

微笑みありて言葉なき友

ぼくはえみありて言葉なき心の中にたぎる思いが、どのようなものであるか私には分りません。人間、本当に悲しい時は

涙が出ないといいますが、苦しみのどん底にある時は言葉は出てこないのかも知れない。でも程度の差はあれ、同じ病気をいだいて共に支え合って生きてゆく会ならば何か寂しい思いも致します。

「京腎協一八二五日の記録」読ませて深く胸りたれました。そこに繰々回顧された先輩諸氏の苦悩と努力、その中から生れていった友の会ですから、後から入会した私達は、その努力に対して自分の出来る形で協力していかなばならないと思いました。

さしあたっては国会請願の署名、去年は入院中に用紙を受け取り、身近かな友達からしか署名頂けませんでした。しかし、十月に発行された全腎協の表紙を見て、私ははっと胸りたれました。その表紙のついていたのは会長さんをはじめとした役員の方の街頭署名の写真でした。こんなにして皆さん頭張っていらっしやるのには私——恥ずかしいと思います。今年は一入でも多くの方から署名いただけるより頭張りたいたいと思います。

みんなのための東腎協、もっと大きく強くなつてほしいと願わずにはおられま

せん。

周囲の人々に理解と協力を呼びかけています

南多摩腎友会

吉原 久雄

前略

東腎協役員の皆々様、日々の御活動を感謝致しております。

同じ苦境で多くの人々の為に、お骨折りを載っておりますことを、私達は忘れてはならないと感じております。私共は今年の四月に東腎協に入会させて戴いた南多摩病院腎友会の患者です。

東腎協の機関誌やパンフレットを見始めて、このような活動がなされていることを知りました。そして、このような事柄に注目してみますと実に貴重な運動で

あり、人々の為に有難い活動活動がされていることも知りました。

私達も、これらを進めてこられた善意の人々に対し、少しでも協力するべきと考え加入したものです。そして、自分達の患者同志はじめ、周囲の人々に理解と協力を呼びかけるつもりで現在の会を数名の仲間と作りました。

今までの所、活動らしいことは致しておりませんが、病院内の待合室に機関誌やパンフレットをまた腎移植に関する新聞、文書、これらにボランティア活動されている方々の感動的ニュース等を張り出して、患者とその家族への啓蒙を行っています。意外と患者も家族も認識は薄いようです。然し私も初めはこんな程度であったようです。だからこそ啓蒙する運動が必要だと思います。

さて、私達の病院は緊急患者も受け入



れているので、患者は各病院から来られてきますので、患者は急増しています。

この病院のドクターは、大変熱情のある方で、とやかく医者がいわれる近頃、医と仁とを備えた方ですので、透析に働くナースの人々も家庭を持ちながら、大変一生懸命に打ち込んでおられます。

その位ですから、自己管理についてもきびしく要求していますが、その心はドクターはじめ透析従事者が一貫して患者の社会復帰への強い願望からと受け取れます。

このようなことを理解出来ず、他へ転院を望む人もいると、ここにも認識や理解不足が見られます。

私達は、患者自身の為もさることながら、将来の激増する患者や、若い人達の為にも東腎協や全腎協の運動を支援し、一緒に行動をしていかなければと考えておられます。

末筆ながら、皆様の御自愛を祈ります。

追伸

現在、南多摩病院の透析ベット数は二十床で、患者数は三十二名です。男子と

女子は三対一位でナース四名、テクニシャン八名です。

準夜を週一回行っており、将来は週二回位になる予定とのことですよ。

透析歴は浅く四十九年開始です。

なお、最近のテレビで出た腎臓バンクへの腎提供者の登録への勧誘運動を行ってみたいと考えてます。

一人では闘病に限界

個人会員

柳 基二

前略

小生は、八年来の慢性腎炎の二十九歳の男の患者です。今まで個人的に、さまざまな治療をして来ましたが、しょせん一人では限界があり、やはり同病者の連帯がなければ慢性病疾患の治療は長続きしないのではと思うこの頃です。

主婦と生活社「腎臓病の治し方百科」で貴会の存在を知りました。腎臓病患者との連帯のためにも、貴会に入会したいと思っておりますので、入会手続き等の資料を送付をお願いします。(六月十一日)

会員外ですが、
お便りしました

渋谷 一男

前略

初めてお手紙を差し上げます。

私達、東京都町田市「あけぼのクリニック」に通院し、透析治療を受けている患者で組織している「あけぼの友の会」の者です。昭和五十一年十二月に発足したばかりですが、会員の健康維持と相互親睦を目的とした若い会です。

先日「あけぼのクリニック」南郷所長以下、医療スタッフの御協力を得まして、厚木飯山温泉に日帰りではありますが、「あけぼの友の会」主催による研修旅行を実施する事が出来ました。(写真11P) 第一回目なので、いろいろと戸惑いもございましたが、会員及びスタッフの御協力により、無事日程を消化出来、有意義な時を過ごす事が出来ました。

次回も又、今回以上に実りある活動をしていきたいと考えております。

同じ病気で悩んでいる方も数多くいる



ビールを飲みながら楽しく談笑

とは思いますが、私達「あけぼの友の会」の活動が同じ患者の皆様にも少しでも御役に立てたら幸いと思ひましてペンを取りました。

透析医療費の

コストダウンについて

匿名希望

先日、透析医療費が一割を超えたが、近い将来、これは保険財政上の大きな問題になるだろうということが、新聞に載っていました。透析患者数は、どんどん増え続け、死亡率も低くなると思ひますが、これらの条件は、どうすることもできません。保険財政上の負担を少しでも軽くするには、一回当たり透析費用（現在は五、六万円かかるそうです）をもっと少くし、半分位までコストダウンさせなければならぬ。コイルをもっと安く出来るようにするのはもちろんですが、透析機械を自動化して、労働力（人件費）を少くする。すなわちコンピュータを導入し、一定の時間に血圧も自動的に出来るようにし、データーをコンピュータに入れれば、自動的に透析コントロールが出来るようになります。コイルもカセット式にボンと入れれば、すぐ透析出来るようにする。

いまは患者数よりも職員数の方が多い時があるくらい、職員が多すぎます。これでは人件費も相当かかります。いまの透析従事者の仕事らしいものは、朝と終りだけで、あとは暇がかなりあり、一日中テレビを見て、ベチャクチャ話しかかりして、患者はたいていじっと我慢して苦しんでいるのに、賑々しいだけで、とくに不愉快な気持ちになりません。

コンピュータを導入すれば、透析従事者も今の半分位ですみ、人件費も相当節約できます。このように透析医療費を半分位まで、コストダウンすれば、将来おこる財政上の問題も解決できるのではないでしようか。



移植後二年、主人は 元気で頭張っています

個人会員

飯田登志子

残暑のきびしさも束の間で、朝夕の風はすっかり秋の風となりました。

毎日、何かと御苦労の事と存じます。

お蔭様にて主人も移植後、満二カ年を経過しました。大きなトラブルも無く順調にすぎてもいりました。

ほんとうに有難度く思っています。多くの方々のお力添えがあったればこそです。家業に元氣良く精出してきて居ります。これからも充分に体に気をつけて夫婦共々長生きをしたいと思えます。どうぞ、皆様もくれぐれもお体を大切にどうぞして下さい。

食事療法で

頭張っています

ニール友の会

草間 和男

四十五年二十三歳の時に慢性腎炎と宣言されてから七年半経りました。慢性腎

炎高血圧型から進行型を経てとうとう慢性腎不全となつてしまいました。現在クレアチニンは五・〇〇五・三なので食事療法（蛋白35g）で頭張っております。

今年一月から六月まで入院しましたが退院当初は食事療法がうまくいかずカロリー不足（入院している時と同じぐらいのカロリーをとっていた）で夏バテしてしまい、こんなことを長く続けていたらどうなるかと考えるといやになつてすっかりふさぎ込んでしまいました。

八月の涼しさでようやく元氣を取り戻して、どうやら検査の方も安定してきたので、友の会の活動、店（住んでいるところと別の場所での）金の計算と少しづつ動き出したところです。

しかし、まだ調子に波があり涼しい時は良いのですが、暑い時はどうも調子が出なくて困つてしまいます。

現在、一人で家で留守番といふことが多く、行動が限られているのでやる事が余りなく考えがちになつてしまいます。考え出すと又、ふさぎ込みそりになるので散歩したりして気分転換をしています。何か私にも毎日決まった仕事があれば

ばと思つていますが、今のところは、お金の計算と友の会のことをちよつとやっているだけです。

入院前も今と大して違つた生活をしてはいた訳ではないのですが、何か今よりも毎日が充実していたように思われます。

最近、仕事をしていない事がどうもひつかかつて、ただブラブラしているという感じが強く町を歩いていて恥ずかしいような気がします。近所の人は皆、私のことを良く知つていて気にすることはないのですが……。

商店街なので何か商売を始めたらと思つていますが、最近の情勢とか色々と考えてみると、なかなか私に合つたような商売もなく、又出来そうな店は近所にあるし、もう少し情勢を見てからというところです。

現在、弟がやっている店がうまくいっているのんびりと自分の好きなことをしていいのですが、貧乏症なのでしょうか。動いていないと安心できないのです。しかし、病気が病氣なのであせらずに自分に合つた生活を見つけるのが得策と思つてはいるのですが……。

生きる仲間 足りぬ人工腎臓

関西のある大病院で、人工腎臓の機械一人分が空いた。待っていた腎臓病の患者は五人いた。だれに機械を使わせるかは医師が決めねばならない。先着順だけでは割れない。医師はまず、五十歳を越えた一人の患者にあきらめてもらった。「若い人により多く生きる権利がある」とその医師は考えた。

残る四人は、年齢も、病状も大差なかった。医師は患者の家族を呼んで四本のクジをつくった。当たったAさんは、現在も機械のおかげで生きている。空クジを引いた三人は、全員腎不全で死んだ。Aさんは、自分が幸運に恵まれたに過ぎないことを知らない。不運な人たちは、も

ちろん、クジ引きをしたことを知らずに死んだ。

こんな実話が全国腎臓病患者連絡協議会に集ってくる。腎臓の機能を失った人たちは一生機械で生きるか、腎臓移植するしかない。だが、機械も移植のチャンスも絶望的に不足している。

全腎協事務局長の笠原英夫さんは六年前に発病した。「機械は自分で見つけてほしい」と宣言した医師の冷たい言葉を忘れられない。「私は自分でクジを引く気になれない。当てもはずれても死ぬまで納得できないと思う」。笠原さんは機械を見つげるのに一年半かかった。それも、ある医師の好意のおかげだった。機械の使用料月五十万円の医院がある。腎臓移植を納得した人だけしか機械の使用を認めない大病院もある。患者がつけかけるのをおそれて、機械の増設をひたすらかくした病院もある。

「よほど強力なコネでもない限り、死ぬしかない」実情を笠原さんは知りつくした。入院中、同病の友は、出される食事の内容で死期を知った。患者がお互いに腎臓病のデータを話合いと、次はオレが死ぬ番だ、とわかる。機械にありつく前の笠原さんの日記はまるで遺書みたいだった。

ひと昔前のアメリカでは、各病院に「覆面委員会」があった。どの患者に機械を使わせるか。患者の社会的貢献度、人種、財産などによって、生死が決った、という。

全腎協の悲痛な声が、やっと政府に届き、四十七年度から六百二十五台分の治療費一部負担が予算化される。腎不全による死者は年間約一万一千人、機械を必要とする患者はその約半数。機械は今年度で約千五百人分しかない。

(朝日新聞47年3月5日付)

※ 最近透析に入った人は、過去にこんなことがあったなどと信じられないでしょうね。少々古い新聞の切りぬきですが、ぜひ心にとめておいて欲しいと思っ

て掲載しました。

ポクサーK O死、そして—腎臓を二女性へ— 名古屋。遺族の好意で移植

名古屋で建築現場を転々としながらボクシングを続けていた若い四回戦ボーイが、リングで意識不明の重体となり、四日後の三十日未明、死亡したが、家族らの善意で、その腎臓が慢性腎不全に苦しむ二人の女性に移植された。経過は順調で、二人の女性からだの中で、いま腎臓は力強く働いている。移植手術に当たった名古屋第二赤十字病院の医師チームの話では、死体腎の移植は今後の慢性腎不全治療の決め手となるだけに、若いポクサーと家族の善意は、はかりきれない進歩をもたらすだろうと言っている。

このポクサーは名古屋市熱田区横田町二の六、土谷勝則選手（二二）。同市西区の大府ボクシング支部山田ジムに属しており、二十六日夜、同市千種区の吹上

ホールで行われたプロボクシング四回戦で中日ジム所属の選手と対戦、最終回、アゴにパンチをくらひ、あお向けにダウンしたが、再び起き上がり、ゴングが鳴るまで闘い続けた。しかし、コーナーに戻った直後、意識を失ひ、名古屋市昭和区妙見町の名古屋第二赤十字病院へ運ばれた。土谷選手は二十九日朝方からは脳死の状態となった。

同病院は以前から愛知県がんセンター（名古屋千種区）増子病院（同市中村区）とプロジェクト・チームを組み、何度か腎臓移植を行っており、土谷選手は家族は、蘇生の手を尽くして心臓が止まった段階で医学の進歩のため腎臓を提供することに同意した。

同病院での懸命の手当てもむなしく三

十日午前一時四十八分、土谷選手は死亡した。死因は頭がい内出血と脳さ傷。

このあと、土谷選手のからだから二個の腎臓が取り出され、一個は同病院入院中の岐阜県の二十六歳の女性へ。もう一個は同市中村区の増子病院に運び、愛知県の三十二歳の主婦へそれぞれ移植。その後の経過は順調という。

こんどのケースについては、手術に当たった愛知県がんセンター第三外科診療科医長、高木弘さんと増子病院の川原弘久医師らは「増子病院の女性の場合は、小供一人をかかえた主婦で、慢性腎不全のため主婦業も思うようにできなかつたが、退院後はほぼ普通の人と同じように生活できると思ひ。死体腎の提供は一般にまだよく知られていないので、これをきっかけに各方面に呼びかけていきたい」と話していた。

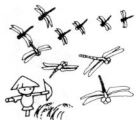
また名古屋第二赤十字病院脳神経外科部長、新谷彬医師は「家族に本当に理解してもらえてよかつた。息子さんは残念ながら死亡したが、そのからだの一部が、これからは生きながらえていく点で納得していたのだいたよりだ」と言っている。

土谷選手は岐阜県加茂郡川辺町下吉田の出身で、土谷武雄さん(六二)の三男。倒れた試合がプロとして初めての試合だったという。

母親ふささん(五七)は「脳波で死を知らされたあと、医者から『腎臓病で悩んでいる人が多い。ムリには言わないが、ぜひ協力してほしい』と言われた。あらゆる手を尽くしたあとなので、家族で相談してお役にたてばと。提供することにした。あの子は死んだが、あの子のいのちは立派に生きていると思っています」と話していた。

日本では死体腎提供のシステムが確立されておらず、愛知県でも三年前から三例あるだけ。

(毎日新聞 8月31日付)



事務局からの お知らせ

全腎協国会請願署名 についてのお願い

全腎協では毎年国会請願署名運動をおこなってきましたが、今年度も取り組んでいます。東腎協は、事務局に十月十五日必着という取り組みをしましたが、まだお手元にすでに署名をしていたいた利用紙があったら至急お送り下さるようお願いいたします。

△送り先▽

〒161
新宿区

「腎臓提供者登録カード」 についてのお願い

会員の方には、すでに「腎臓提供者登録カード」が届いている事と思いますが、なるべく多くの人に訴え協力を呼びかけて下さい。なによりもまず、私たちが社会に訴え、幅広い人からの協力が得られ

るなら必ずや移植そのものも進歩するものと思います。

また事務局には「腎臓提供者登録カード」が残っていますので、協力が得られる方は事務局までご連絡下さい。

なお、この「カード」には「東腎協」のゴム印が押してあり、会員がどれだけの人に協力を得られたかも調べればわかるようになっていきます。

「人工腎臓患者カード」 さっそく役立っ

過日、配付した「人工腎臓患者カード」を持った会員のAさんは、スーパーで買物中鼻血が出て止まらなくなりました。すぐそのスーパーの店長から東腎協の事務所に電話があり、職本病院の患者さんであることがわかりました。救急車で同病院に無事収容されたそうです。

事務局では、こんなに早く「人工腎臓患者カード」が役立つとは夢にも思いませんでした。なにはともあれ、よかったですね。

よろしく
お願いします

個人会員入会者 (52・1～9月まで)

52・1月

杉本忠行

52・3月

橋本幸一・藤橋サダ

52・4月

池田実・石田厚史・加島憲一・小杉沢

淳子・樋口徹・矢島康夫・若月義信

52・5月

鈴木千春・多田あや子・中司富美子

52・6月

板津学・津津本代・桜井清子・八島三

枝子・柳基二

52・8月

川住和矢

52・9月

間々田行子・高橋輝義

患者会入会

52・3月

立川クニニツク親睦会

会員数 八名

南多摩腎友会

会員数 七名

目黒駅前クニニツク腎研究会

会員数 十四名

52・9月

中島病院腎友会

会員数 四名

編集後記

ことしは、八月の暑さの盛りに連日雨ばかりで、『夏』が来ないうちに秋がきてしまったようでとても残念でした。

今号は、会員の生の声——投稿を中心に編集しました。東腎協も徐々にですが年々会員が増えています。一千名になるのももう少しのところですよ。

みんなから親しみのある『会報だ』といわれるよう、これからも頑張りたいと思いますのでどうかよろしく願います。

(加藤)

* 食事療法を必要とするあなたへ……………

治療食品専門店がオープンしました!



- 治療食の指導をいたします。
医師の栄養指導書をお持ちください。
経験豊富な管理栄養士がご相談に同じ適切な治療食のご提案をいたします。
- 治療食品・健康食品の販売もいたします。

株式会社 日盛

東京都千代田区飯田橋3-11-5 / 20山京ビル101

☎(03)262-8861(代)

昭和五十一年二月二十五日第三
SSKO通巻第百五十五号
昭和五十二年八月二十九日発行

便物認可

発行所

東身
害者団体定期刊行物協会
世田谷区砦八一二一三 領価百円